

ANAホールディングス株式会社 説明会

2024年3月期 第3四半期決算

2024年1月31日

上席執行役員
グループCFO

中堀 公博



目次

2023年度 第3四半期決算

1. 決算概要・業績予想の修正		3. 航空事業	
決算概要（第3四半期累計）	P. 3	収入・費用	P. 15
決算概要（第3四半期）	P. 4	営業利益 増減要因	P. 16
事業別の取り組み	P. 5	ANA国際旅客	P. 19-21
航空事業・事業別の需要動向	P. 6	ANA国内旅客	P. 23-24
通期業績予想（修正）	P. 7	ANA国際貨物	P. 27-29
セグメント別計画（修正）	P. 8	ANA国内貨物	P. 30
航空事業 売上・費用計画（修正）	P. 9	LCC (Peach Aviation)	P. 31-32
今後の事業環境	P. 10	ANA国際線 方面別実績（構成比）	P. 33-34
		燃油・為替ヘッジの進捗状況（ANA）	P. 35
2. 連結決算（詳細）		航空機数	P. 36
経営成績	P. 11	4. ノンエア事業	
財政状態	P. 12	航空事業以外のセグメント	P. 37
キャッシュフロー	P. 13		
セグメント別実績	P. 14		

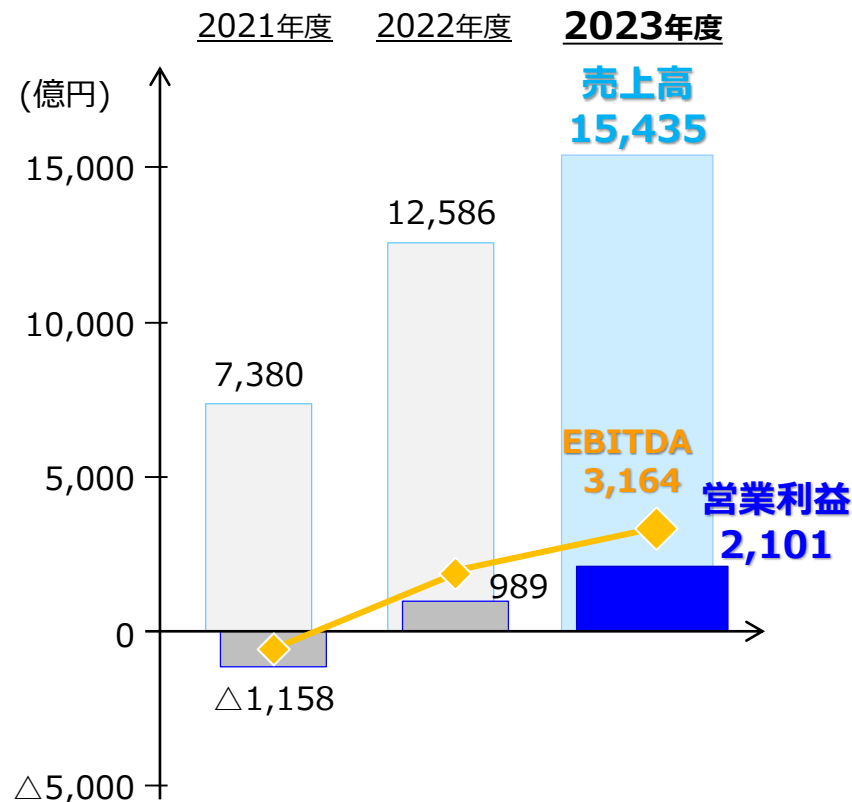
決算概要 (第3四半期累計)

2023年度 第3四半期決算 (4-12月、連結)

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	15,435	+2,849	+22.6%
航空事業	14,081	+2,741	+24.2%
営業費用	13,334	+1,737	+15.0%
航空事業	12,045	+1,696	+16.4%
営業利益	2,101	+1,111	+112.3%
航空事業	2,036	+1,044	+105.4%
営業利益率	13.6%	+5.7pt	-
経常利益	2,071	+1,147	+124.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,489	+863	+137.9%
EBITDA	3,164	+1,099	+53.3%

売上高・営業利益の推移

(第3四半期累計・連結)



コストマネジメントを徹底しながら、トップラインを拡大
→ 営業利益は過去最高を大幅に更新

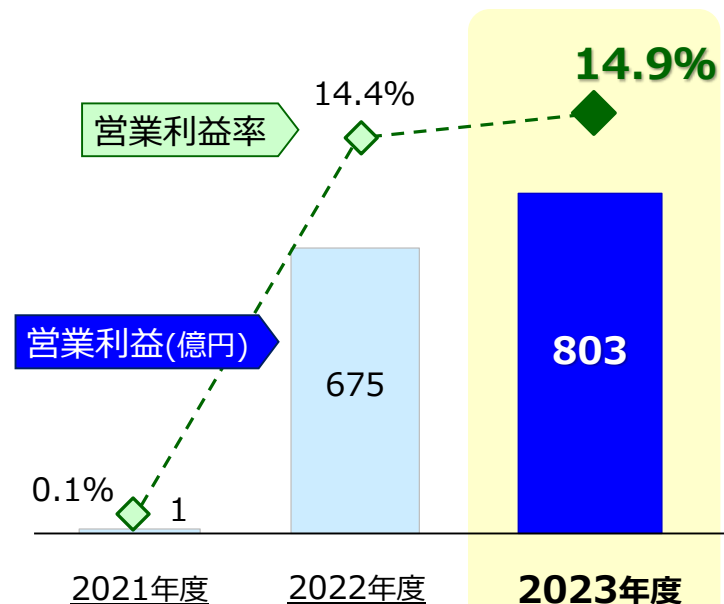
決算概要 (第3四半期)

2023年度 第3四半期 (10-12月のみ、連結)

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	5,408	+729	+15.6%
航空事業	4,950	+738	+17.5%
営業費用	4,604	+600	+15.0%
航空事業	4,191	+571	+15.8%
営業利益	803	+128	+19.0%
航空事業	758	+167	+28.2%
営業利益率	14.9%	+0.4pt	-
経常利益	798	+176	+28.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	557	+126	+29.5%
EBITDA	1,163	+121	+11.7%



営業利益・営業利益率の推移

(第3四半期・連結)



第3四半期(10~12月のみ)でも
過去最高の利益・利益率を達成

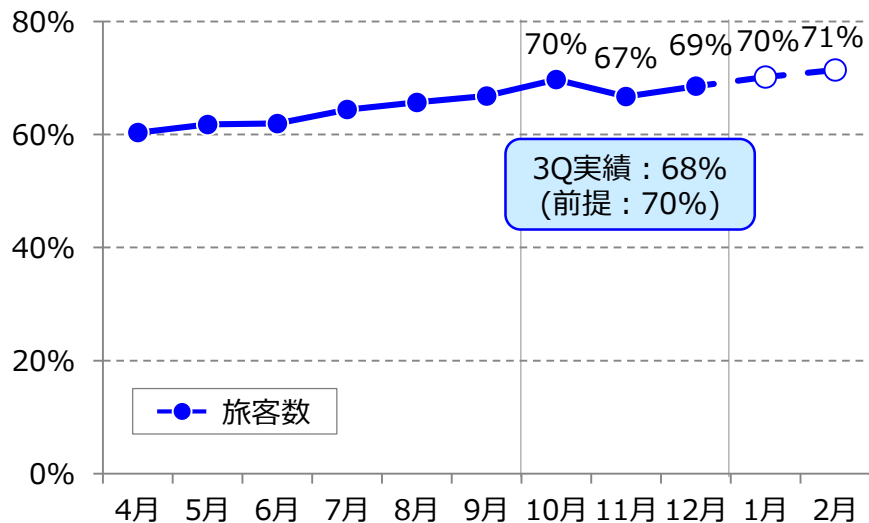
事業別の取り組み（第3四半期）

	具体的な取り組み（10～12月）	売上高 (前年同期比・差)	主な指標
			
国際旅客	運休路線の再開・増便・機材大型化で生産量を拡大 高イールドを維持しながら、海外発需要を中心に取り組み	+50% (+639億円)	イールド(実数) 2Q 3Q 18.0円 18.3円
国内旅客	需要喚起策の効果も寄与し、レジャー需要が好調に推移 6月以降の値上げ効果を持続し、単価を向上	+16% (+243億円)	単価(前年比) 2Q 3Q +2.6% +5.7%
国際貨物	中国発北米向けの三国間貨物を高単価で獲得 大型フレイターを活用し、特殊商材の取り込みを強化	△39% (△282億円)	単価(実数) 2Q 3Q 213円 255円
			
LCC	国際線のリソース配分を高め、旺盛な訪日需要を獲得	+59% (+124億円)	利用率(実数) 86%

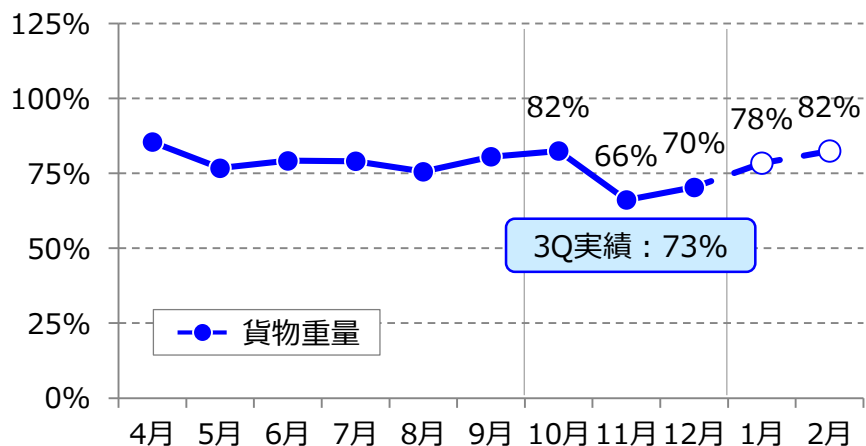
単価を維持・向上しながら、トップラインの拡大を継続

航空事業・事業別の需要動向 (コロナ前との比較)

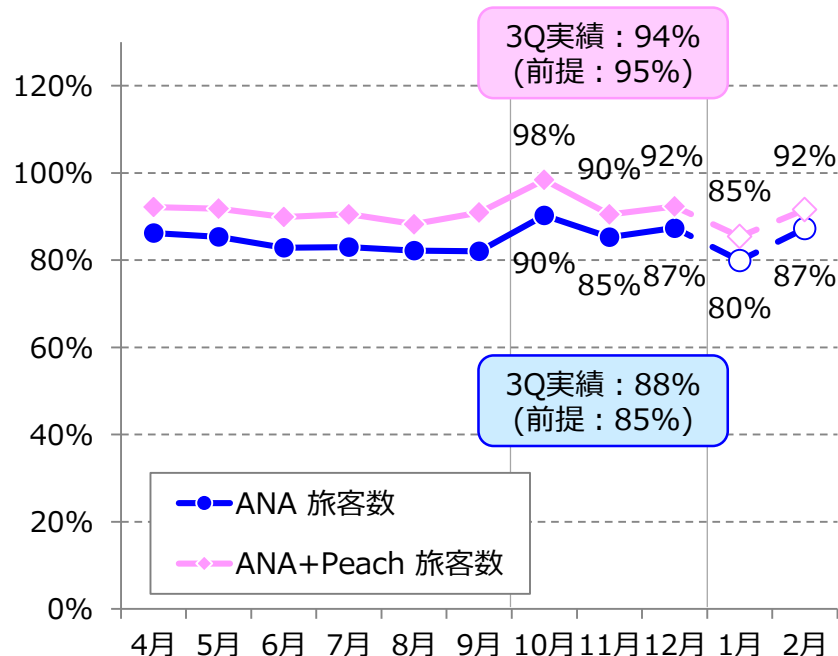
1. ANA国際旅客



2. ANA国際貨物



3. 国内旅客 (ANA・Peach)



* グラフは全てコロナ前との比較

- ① 4~12月実績 : 2019年 4~12月 (2019年度 1~3Q) との比較
- ② 1~2月見通し : 2019年 1~2月 (2018年度 4Q) との比較

* 2019年実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

通期業績予想 (修正)

2023年度 通期業績予想の修正 (連結)

(億円)	当初計画 (23.4.27)	今回修正 (24.1.31)	差異
売上高	19,700	20,300	+600
航空事業	17,640	18,450	+810
営業利益	1,400	1,900	+500
航空事業	1,340	1,840	+500
営業利益率	7.1%	9.4%	+2.3pt
経常利益	1,150	1,900	+750
親会社株主に帰属する 当期純利益	800	1,300	+500
EBITDA	2,830	3,325	+495

市況	当初計画	修正計画 (第4四半期)
為替レート (円/US\$)	135	145
ドバイ原油 (US\$/bbl)	80	75
シンガポールケロシン (US\$/bbl)	100	100

修正のポイント

- 1) 第3四半期までの実績
旅客事業の大幅な増収
[国際線] 回復する需要を高単価で獲得
[国内線] レジャー需要が好調に推移
- 2) 第4四半期の見通し
人財への投資、エンジン関連費用の増加

通期業績予想を上方修正
→ 過去最高益となる見込み

セグメント別 計画 (修正)

(億円)	FY2022	FY2023 修正予想	前年差	FY2023 当初予想*
売上高	航空事業	15,394	+ 3,055	17,640
	航空関連事業	2,471	+ 428	2,860
	旅行事業	738	+ 61	1,060
	商社事業	1,032	+ 167	1,340
	その他	380	+ 19	400
	調整額	△ 2,942	△ 507	△ 3,600
	合計 (連結)	17,074	+ 3,225	19,700
営業利益	航空事業	1,241	+ 598	1,340
	航空関連事業	23	+ 76	85
	旅行事業	△ 2	+ 12	40
	商社事業	35	+ 14	40
	その他	5	+ 4	5
	調整額	△ 102	△ 7	△ 110
	合計 (連結)	1,200	+ 699	1,400

* 2023年4月27日開示の業績予想

航空事業 売上高・営業費用 計画 (修正)

(億円)		FY2022	FY2023 修正予想	前年差	FY2023 当初予想*
売上高	国際旅客	4,334	7,270	+ 2,935	6,170
	国内旅客	5,295	6,420	+ 1,124	6,300
	ANA 貨物郵便	3,413	1,880	△ 1,533	2,530
	その他	1,447	1,550	+ 102	1,430
	Peach・AirJapan	902	1,330	+ 427	1,210
	合計	15,394	18,450	+ 3,055	17,640
	営業費用	燃油費・燃料税	3,477	3,960	+ 482
燃油費・燃料税 以外		10,675	12,650	+ 1,974	12,240
合計		14,152	16,610	+ 2,457	16,300
営業利益	営業利益	1,241	1,840	+ 598	1,340

* 2023年4月27日開示の業績予想

今後の事業環境について

今後の事業環境と主な取り組み (第4四半期～2024年度)

売上高	1. 国際旅客	1) 各国エアラインの供給量回復が進み、 イールドは正常化に向かう と想定 →羽田路線を中心に生産量を増加し、旅客数の獲得で収益拡大
	2. 国内旅客	1) エアバス機の稼働減に伴う減便は、2024年7月で終了 →レジャー需要の更なる獲得と、単価向上に向けた取り組みを強化
	3. 国際貨物	1) 主要商材の需要は、 2024年度下期にかけて回復 する見通し →旅客便とフレイターの特性を活かし、最適なネットワークで収益を最大化
営業費用	4. 公租公課等の減免	1) 燃料油価格の激変緩和措置は、2024年4月末まで(1月末時点) 2) 空港使用料の減免額が、2024年3月以降は縮小
	5. 人財への投資	1) 持続的な成長に向けて、 生産性向上や人手不足*への対応策を強化 * 空港グランドハンドリング、保安検査要員など
	6. 機材への対応	1) A320/321neo型機の 非稼働機数の抑制に向けた対応を継続 2) 生産量回復に伴う各種エンジンの整備機会の増加に確実に対応

事業環境の変化に柔軟かつ適切に対応しながら、中期的な成長を追求

経営成績

(億円)	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差	FY2023 第3四半期	前年差
売上高	12,586	15,435	+ 2,849	5,408	+ 729
営業費用	11,596	13,334	+ 1,737	4,604	+ 600
営業利益	989	2,101	+ 1,111	803	+ 128
営業利益率 (%)	7.9	13.6	+ 5.7pt	14.9	+ 0.4pt
営業外損益	△ 66	△ 29	+ 36	△ 5	+ 48
経常利益	923	2,071	+ 1,147	798	+ 176
特別損益	△ 0	△ 4	△ 4	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	626	1,489	+ 863	557	+ 126
四半期純利益	636	1,498	+ 861	561	+ 125
その他包括利益	△ 195	28	+ 224	△ 486	△ 69
包括利益	441	1,526	+ 1,085	74	+ 55

財政状態

(億円)	FY2022 期末	FY2023 第3四半期末	前年度 期末差
総資産	33,667	34,850	+ 1,183
自己資本	8,624	10,136	+ 1,512
自己資本比率 (%)	25.6	29.1	+ 3.5pt
有利子負債残高	16,079	15,299	△ 779
D/ELシオ (倍)	1.9	1.5	△ 0.4
手元流動性資金 *1	11,837	12,990	+ 1,153
純有利子負債残高 *2	4,241	2,309	△ 1,932
ネットD/ELシオ (倍) *3	0.5	0.2	△ 0.3

*1 手元流動性資金 = 現金及び預金 + 有価証券

*2 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性資金

*3 ネットD/ELシオ = 純有利子負債 ÷ 自己資本

キャッシュフロー

(億円)	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差
営業キャッシュフロー	3,392	3,229	△ 163
投資キャッシュフロー *1	△ 747	△ 3,513	△ 2,765
財務キャッシュフロー	△ 1,275	△ 891	+ 384
現金及び現金同等物の増減額 *1	1,393	△ 1,154	△ 2,547
現金及び現金同等物の期首残高 *1	8,823	11,134	} △ 1,154
現金及び現金同等物の期末残高 *1	10,216	9,980	
減価償却費	1,114	1,063	△ 51
設備投資額 (固定資産のみ)	943	1,496	+ 553
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の譲渡性預金等を除く)	2,578	2,023	△ 554
EBITDA (営業利益 + 減価償却費 *2)	2,065	3,164	+ 1,099
EBITDAマージン (%)	16.4	20.5	+ 4.1pt

*1 当年度よりキャッシュフローにおける資金の範囲を変更 (前年実績も変更を反映)

*2 休止機材費に計上した減価償却費を含まない

セグメント別実績

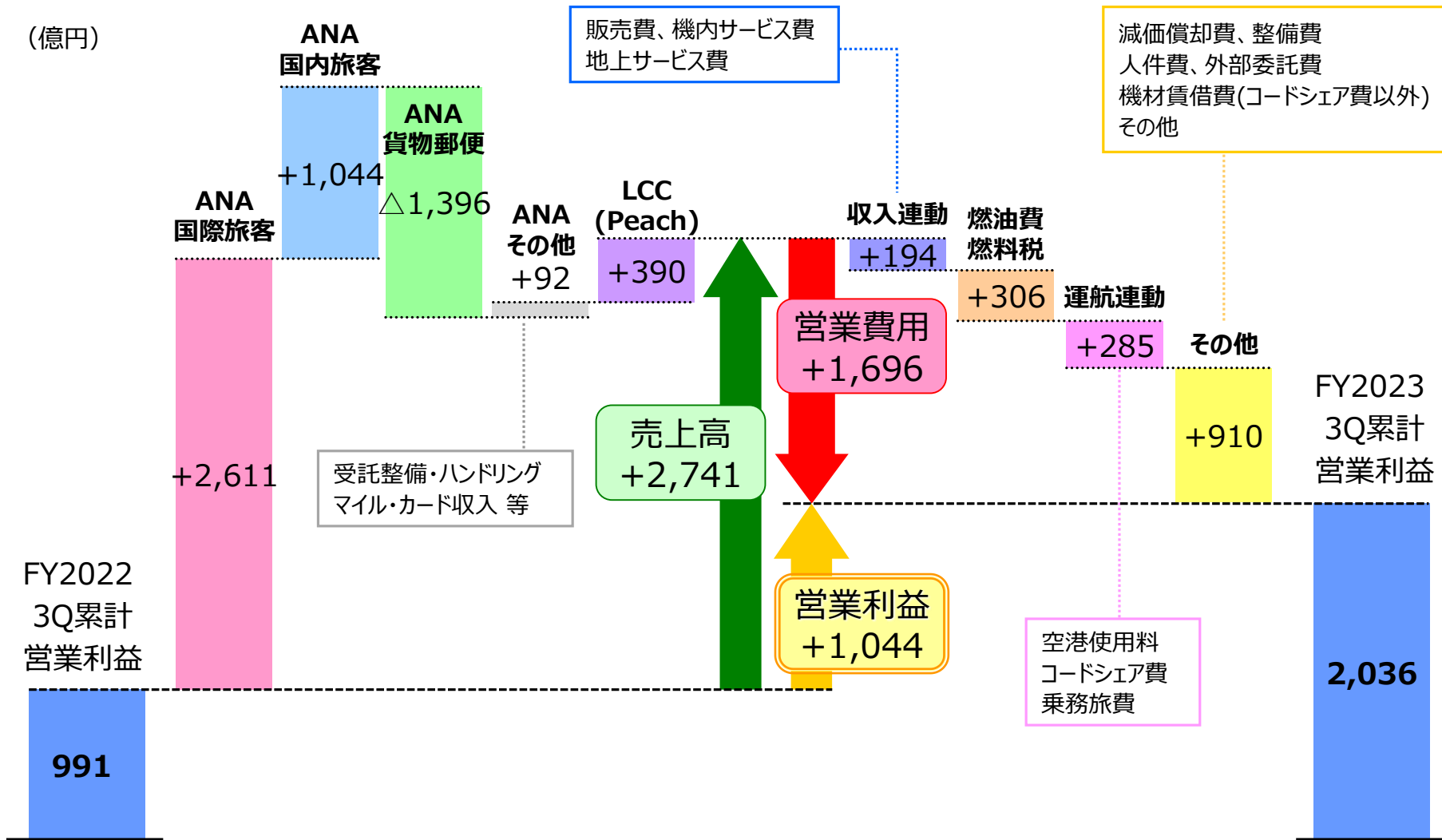
(億円)		FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差	FY2023 第3四半期	前年差
売上高	航空事業	11,340	14,081	+ 2,741	4,950	+ 738
	航空関連事業	1,802	2,092	+ 289	727	+ 60
	旅行事業	530	592	+ 61	196	△ 13
	商社事業	765	867	+ 101	293	+ 4
	その他	272	287	+ 15	100	+ 5
	調整額	△ 2,125	△ 2,485	△ 360	△ 859	△ 65
	合計(連結)	12,586	15,435	+ 2,849	5,408	+ 729
営業利益	航空事業	991	2,036	+1,044	758	+ 167
	航空関連事業	51	96	+ 44	52	△ 30
	旅行事業	△ 6	13	+ 19	3	△ 2
	商社事業	30	42	+ 12	15	+ 1
	その他	3	7	+ 3	7	△ 0
	調整額	△ 80	△ 94	△ 13	△ 33	△ 5
	合計(連結)	989	2,101	+ 1,111	803	+ 128

収入・費用

(億円)		FY2022	FY2023	前年差	FY2023	前年差
		第3四半期累計	第3四半期累計		第3四半期	
売上高	ANA 国際旅客	2,903	5,515	+ 2,611	1,929	+ 639
	ANA 国内旅客	3,921	4,965	+ 1,044	1,736	+ 243
	ANA 貨物郵便	2,818	1,421	△ 1,396	527	△ 292
	ANA その他	1,076	1,168	+ 92	420	+ 23
	LCC	620	1,010	+ 390	336	+ 124
	合計	11,340	14,081	+ 2,741	4,950	+ 738
営業費用	燃油費・燃料税	2,596	2,902	+ 306	1,025	+ 135
	空港使用料	428	641	+ 213	223	+ 62
	航空機材賃借費	987	1,122	+135	377	+ 39
	減価償却費	1,031	1,021	△ 9	344	△ 7
	整備部品・外注費	958	1,221	+ 262	443	+ 128
	人件費	1,402	1,502	+ 99	511	+ 33
	販売費	355	406	+ 50	137	+ 8
	外部委託費	1,523	1,863	+ 340	650	+ 76
	その他	1,064	1,362	+ 298	478	+ 92
	合計	10,348	12,045	+ 1,696	4,191	+ 571
	営業利益	991	2,036	+ 1,044	758	+ 167
営業利益	EBITDA (営業利益+減価償却費)	2,022	3,058	+ 1,035	1,103	+ 159
	EBITDAマージン (%)	17.8	21.7	+ 3.9pt	22.3	△ 0.1pt

営業利益 増減要因

(億円)



Intentionally Left Blank

Intentionally Left Blank

ANA国際旅客

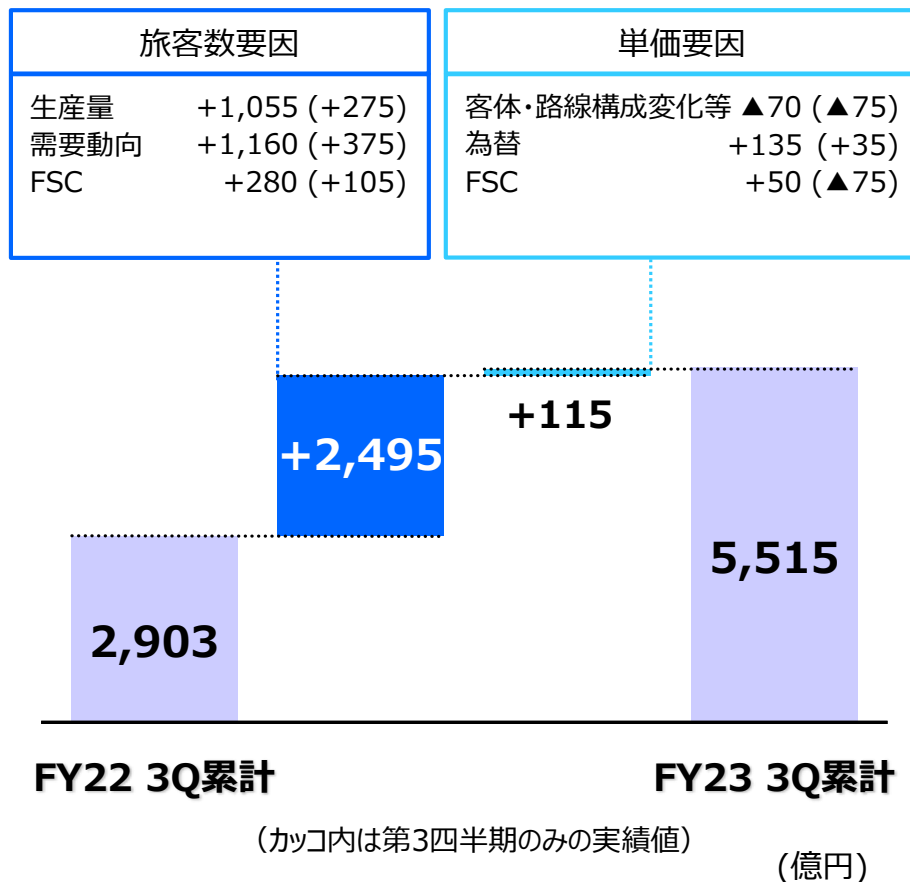
	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年比(%) (CY19比)*2	FY2023 第3四半期	前年比(%) (CY19比)*2
座席キ〇 (百万)	24,804	39,512	+ 59.3 (△ 25.1)	13,609	+ 34.8 (△ 23.7)
旅客キ〇 (百万)	17,994	30,844	+ 71.4 (△ 27.5)	10,516	+ 44.4 (△ 26.6)
旅客数 (千人)	2,817	5,310	+ 88.5 (△ 34.9)	1,838	+ 58.9 (△ 31.7)
座席利用率 (%)	72.5	78.1	+5.5pt*1 (△2.6pt)	77.3	+5.1pt*1 (△3.1pt)
旅客収入 (億円)	2,903	5,515	+ 89.9 (+ 9.4)	1,929	+ 49.6 (+ 14.6)
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キ〇)	11.7	14.0	+ 19.2 (+ 46.0)	14.2	+ 10.9 (+ 50.2)
イールド (円) (旅客収入/旅客キ〇)	16.1	17.9	+ 10.8 (+ 50.8)	18.3	+ 3.6 (+ 56.2)
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	103,063	103,864	+ 0.8 (+ 68.0)	104,908	△ 5.9 (+ 67.7)

*1 座席利用率のみ前年差及びCY19差

*2 2019年4-12月期実績を、新収益認識基準に置き換えた場合の数値と比較

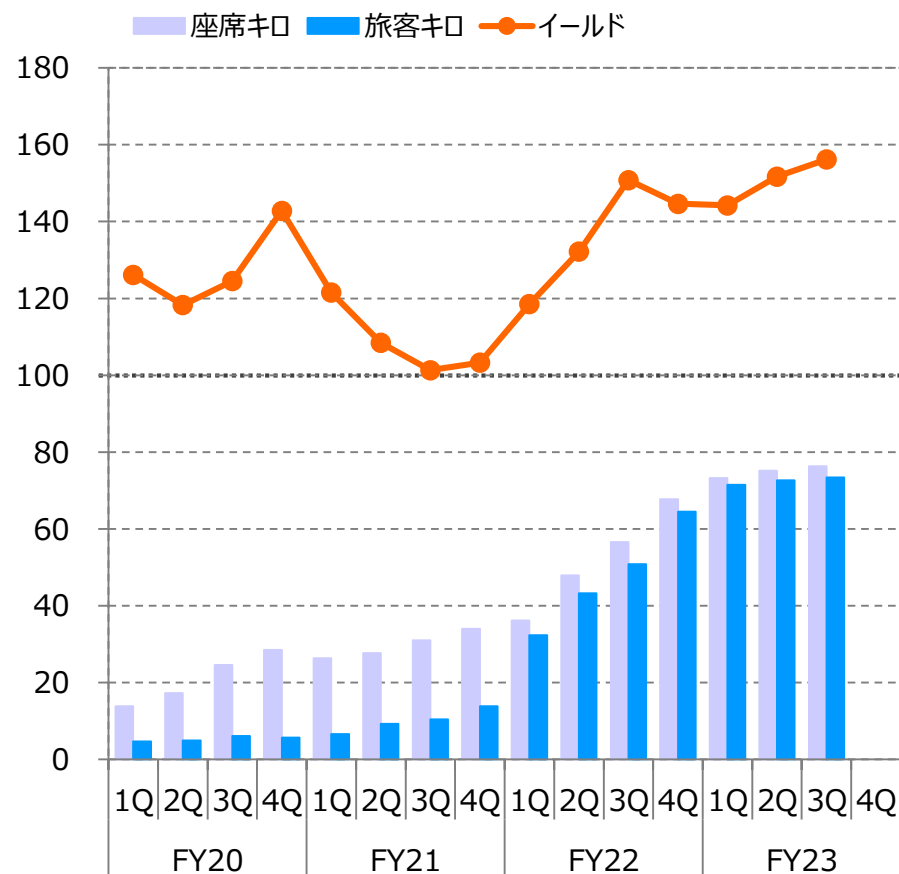
ANA国際旅客（事業動向）

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



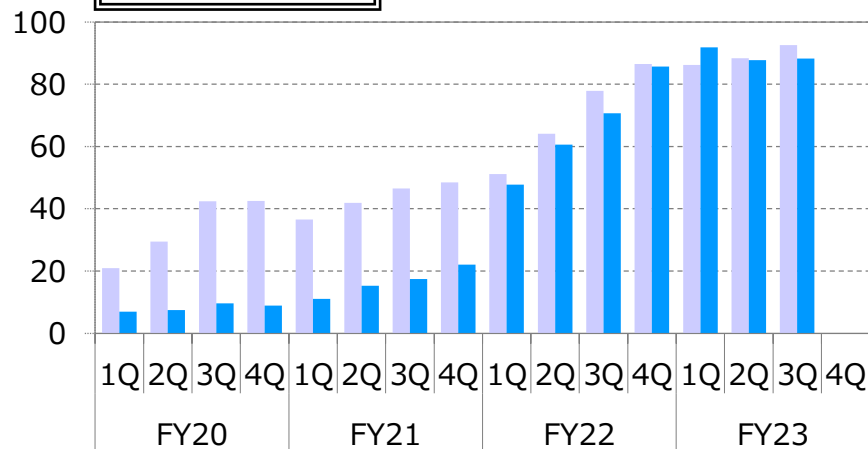
* 2020年度以前の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際旅客（四半期別・方面別 推移）

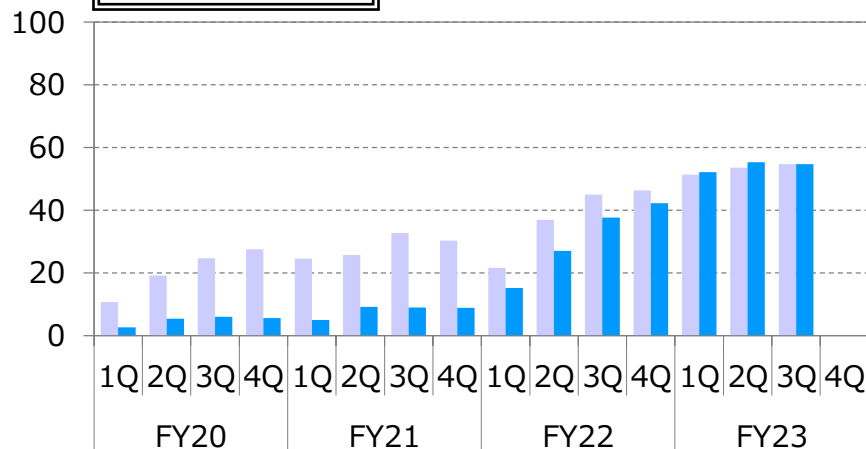
指数：コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100

■：座席キロ ■：旅客キロ

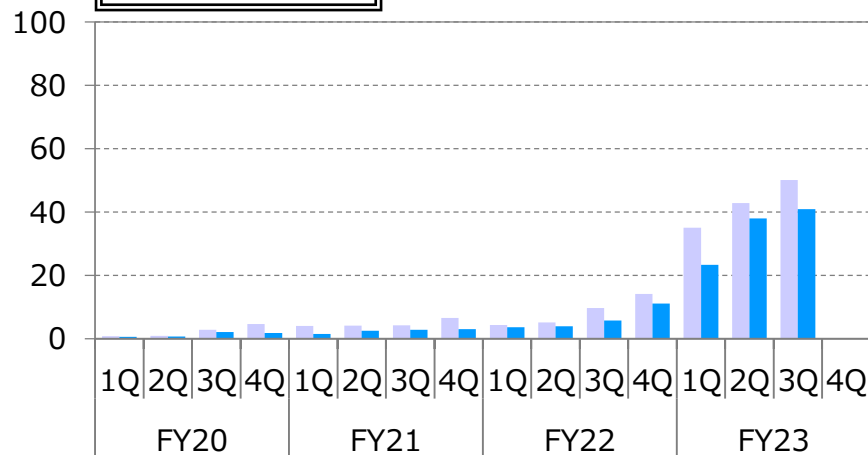
北米



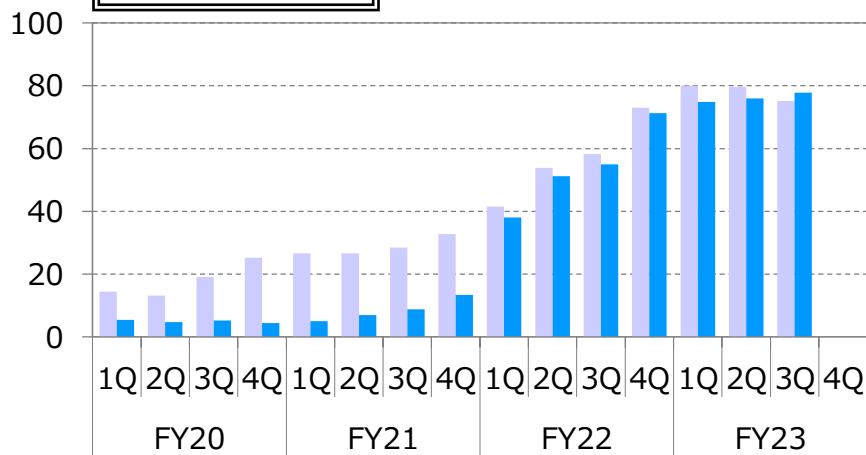
欧州



中国



アジア・オセアニア



* 2020年度以前の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

Intentionally Left Blank

ANA国内旅客

	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年比(%) (CY19比)*2	FY2023 第3四半期	前年比(%) (CY19比)*2
座席キ〇 (百万)	37,136	41,244	+ 11.1 (△ 8.2)	13,726	+ 3.8 (△ 6.6)
旅客キ〇 (百万)	23,144	28,958	+ 25.1 (△ 14.1)	9,922	+ 9.6 (△ 11.3)
旅客数 (千人)	24,870	31,091	+ 25.0 (△ 15.1)	10,696	+ 10.0 (△ 12.4)
座席利用率 (%)	62.3	70.2	+7.9pt*1 (△4.8pt)	72.3	+3.8pt*1 (△3.9pt)
旅客収入 (億円)	3,921	4,965	+ 26.6 (△ 11.4)	1,736	+ 16.3 (△ 6.9)
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キ〇)	10.6	12.0	+ 14.0 (△ 3.5)	12.7	+ 12.0 (△ 0.3)
イールド (円) (旅客収入/旅客キ〇)	16.9	17.1	+ 1.2 (+ 3.1)	17.5	+ 6.1 (+ 5.0)
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	15,768	15,972	+ 1.3 (+ 4.4)	16,234	+ 5.7 (+ 6.3)

*1 座席利用率のみ前年差及びCY19差

*2 2019年4-12月期実績を、新収益認識基準に置き換えた場合の数値と比較

ANA国内旅客（事業動向）

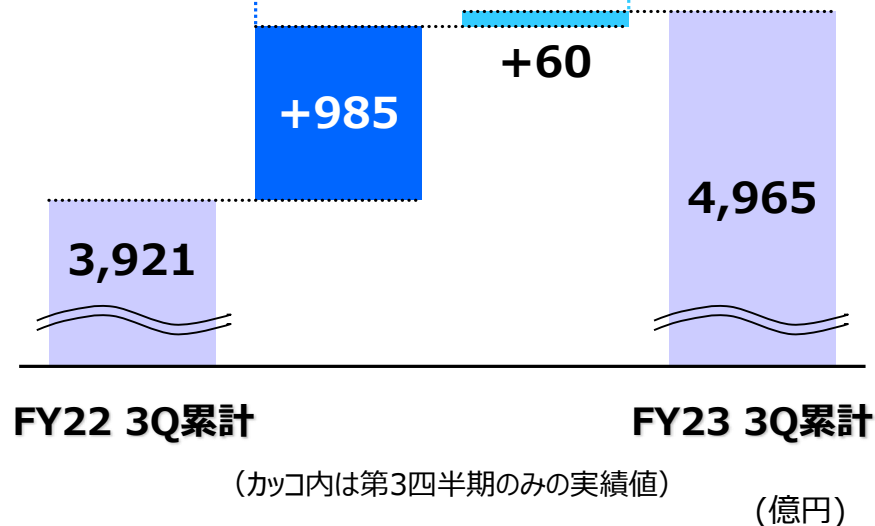
第3四半期累計 収入増減要因（前年差）

旅客数要因

需要回復	+980 (+170)
需要喚起策	+130 (+55)
その他	△125 (△70)

単価要因

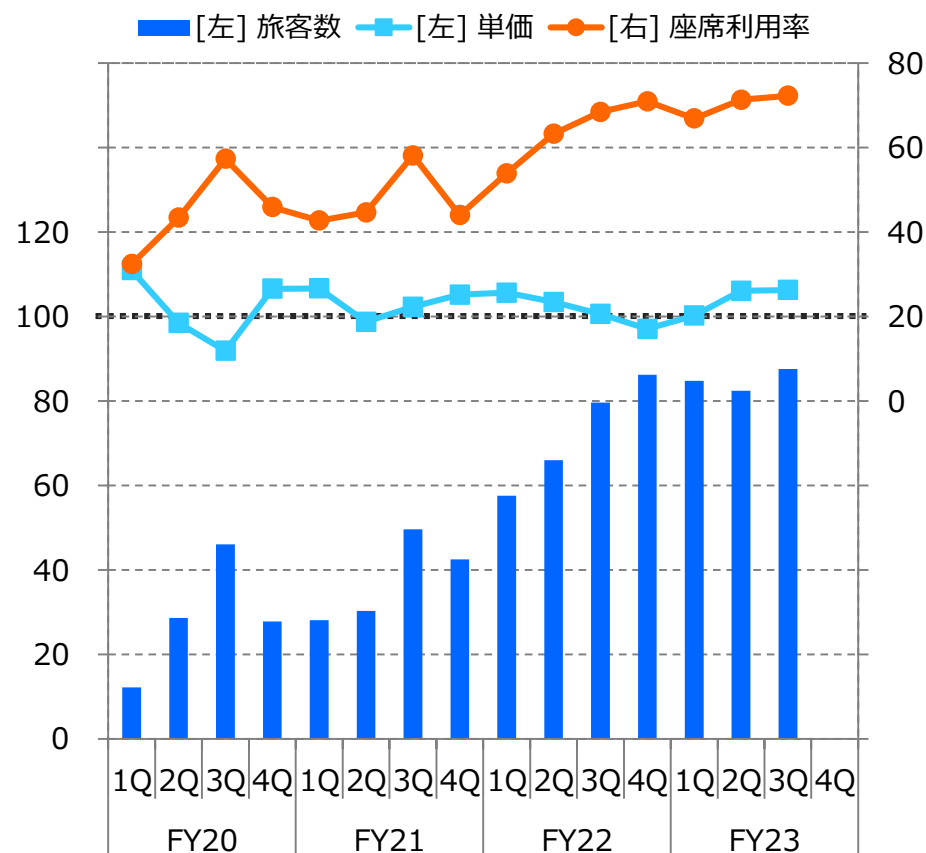
運賃政策等	+240 (+120)
客体構成変化	△155 (△30)
需要喚起策	△15 (-)
その他	△10 (-)



四半期別 実績推移

[左] 指数（コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100）

[右] 実績（%）



* 2020年度以前の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

Intentionally Left Blank

Intentionally Left Blank

ANA国際貨物（ベリー＋フレイター）

	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年比(%)	FY2023 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	4,980	4,768	△ 4.3	1,608	△ 2.5
有償貨物トンキロ（百万）	3,205	2,620	△ 18.2	886	△ 11.6
貨物輸送重量（千トン）	622	517	△ 16.8	173	△ 12.2
貨物重量利用率（%）	64.4	55.0	△ 9.4pt*	55.1	△ 5.7pt*
貨物収入（億円）	2,561	1,191	△ 53.5	442	△ 39.0
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	51.4	25.0	△ 51.4	27.5	△ 37.4
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	79.9	45.4	△ 43.1	50.0	△ 31.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	412	230	△ 44.1	255	△ 30.5

* 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物 (フレイターのみ)

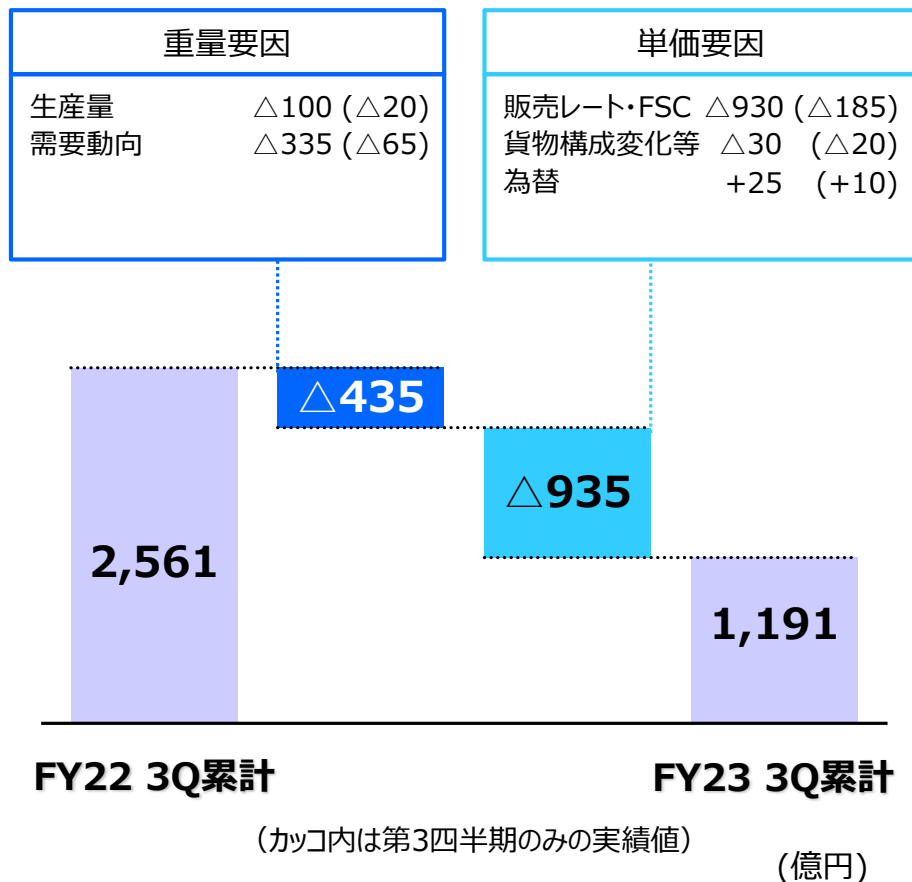
本表のデータは、P.27記載実績の内数

	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年比(%)	FY2023 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	1,805	1,368	△ 24.2	479	△ 17.4
有償貨物トンキロ (百万)	1,161	880	△ 24.1	312	△ 14.5
貨物輸送重量 (千トン)	291	220	△ 24.4	75	△ 19.3
貨物重量利用率 (%)	64.3	64.4	+ 0.1pt*	65.1	+ 2.2pt*
貨物収入 (億円)	1,089	476	△ 56.3	183	△ 41.4
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	60.3	34.8	△ 42.3	38.3	△ 29.1
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	93.8	54.0	△ 42.4	58.8	△ 31.4
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	374	216	△ 42.2	244	△ 27.4

* 貨物重量利用率のみ前年差

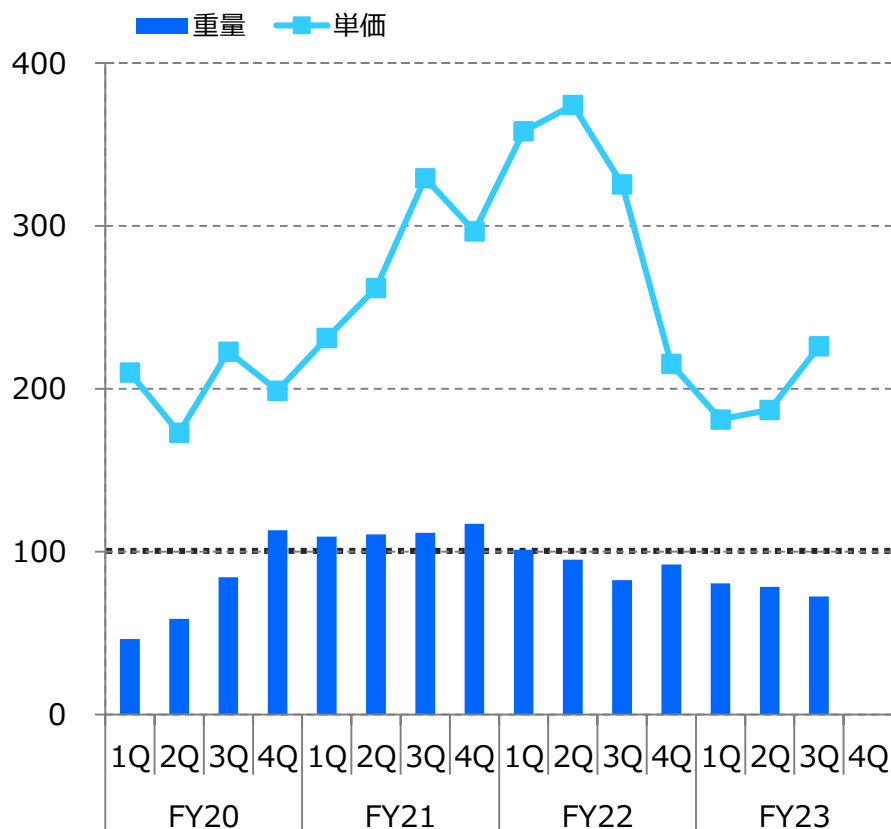
ANA国際貨物（事業動向）

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



ANA国内貨物

	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年比(%)	FY2023 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	1,044	1,261	+ 20.8	416	+ 9.7
有償貨物トンキロ (百万)	216	214	△ 0.9	78	+ 0.1
貨物輸送重量 (千トン)	194	193	△ 0.5	71	△ 0.5
貨物重量利用率 (%)	20.8	17.0	△ 3.7pt*	18.7	△ 1.8pt*
貨物収入 (億円)	186	172	△ 7.6	62	△ 6.5
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	17.8	13.6	△ 23.5	15.1	△ 14.7
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	85.9	80.1	△ 6.8	80.6	△ 6.5
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	96	89	△ 7.1	88	△ 6.0

* 貨物重量利用率のみ前年差

LCC (Peach Aviation)

	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年比(%)	FY2023 第3四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	9,050	10,156	+ 12.2	3,443	+ 14.1
旅客キ〇 (百万)	6,414	8,758	+ 36.6	2,962	+ 34.3
旅客数 (千人)	5,613	7,042	+ 25.5	2,360	+ 22.4
座席利用率 (%)	70.9	86.2	+15.4pt*1	86.0	+13.0pt*1
売上高 (億円) *2	620	1,010	+ 62.9	336	+ 58.9
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キ〇)	6.9	9.9	+ 45.2	9.8	+ 39.3
イールド (円) (売上高/旅客キ〇)	9.7	11.5	+ 19.3	11.4	+ 18.3
単価 (円) (売上高/旅客数)	11,045	14,345	+ 29.9	14,268	+ 29.9

*1 座席利用率のみ前年差

*2 売上高に付帯収入を含む

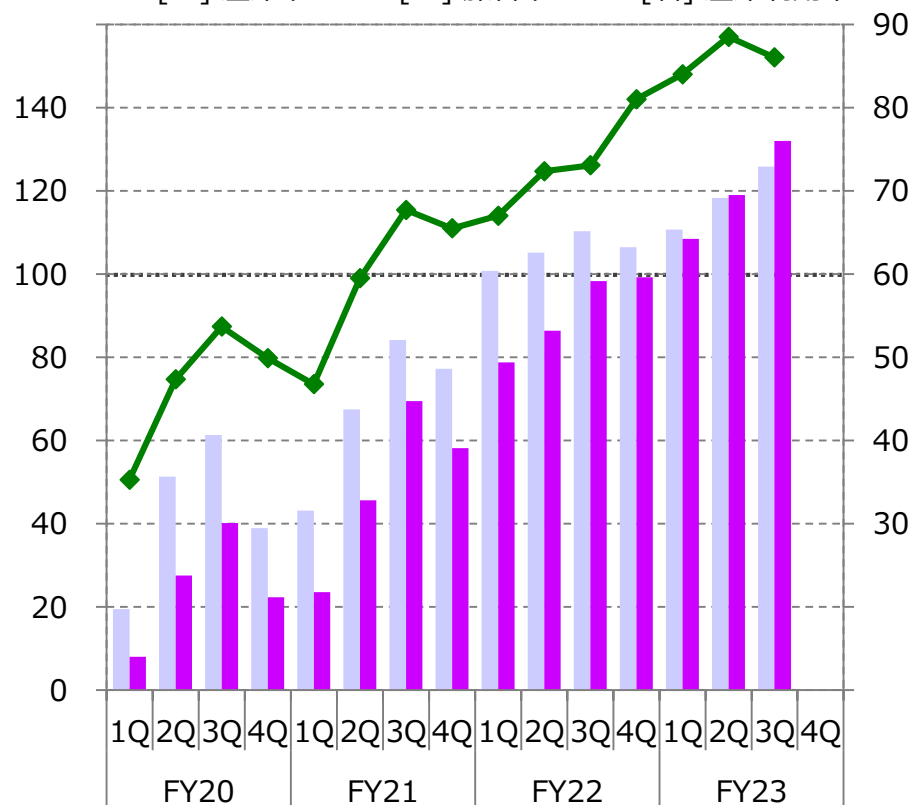
Peach Aviation (事業動向)

四半期別 実績推移 (内際計)

[左] 指数 (コロナ前 (2019年1~12月) 各四半期実績=100)

[右] 実績 (%)

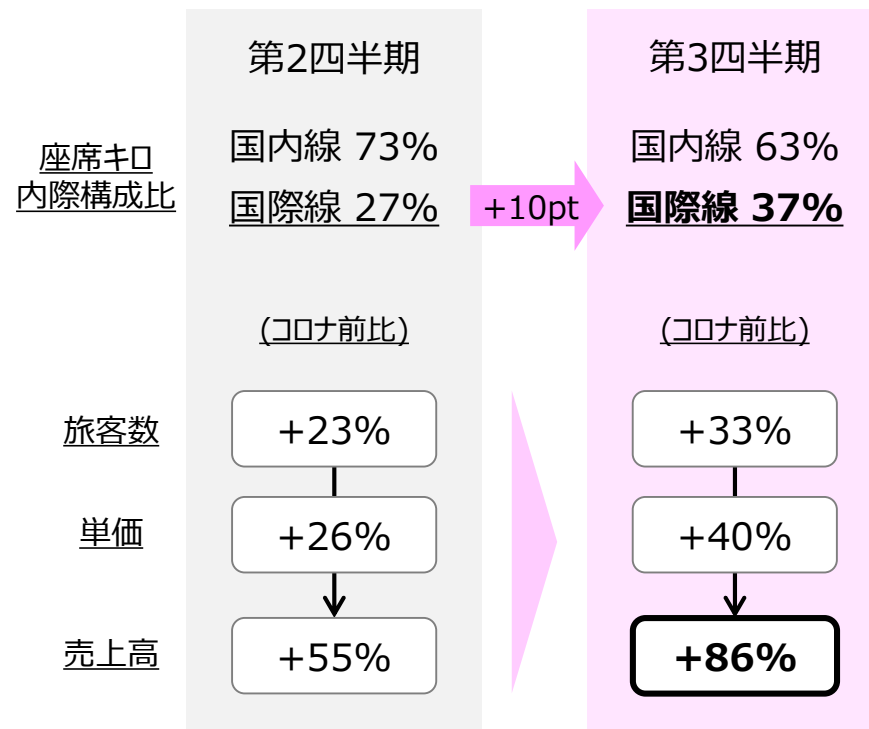
[左] 座席キロ [左] 旅客キロ [右] 座席利用率



* 2019年はバニリアエアの実績を含む

直近のトピック

国際線のリソース配分を高め、収益性を向上
(10月末から関西=仁川線、関西=香港線を増便)



ANA国際旅客 方面別実績 (構成比)

* 2019年実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

	FY2019 3Q累計 構成比	FY2023 3Q累計 構成比	コロナ前実績 との差	FY2023 3Q 構成比	コロナ前実績 との差
旅客収入	北米	29.7	+ 9.0	36.7	+ 7.9
	欧州	20.1	△ 5.0	14.7	△ 4.8
	中国	13.5	△ 6.5	6.4	△ 5.1
	アジア・オセアニア	30.1	+ 2.9	36.4	+ 3.2
	ハワイ	6.6	△ 0.5	5.8	△ 1.1
座席キロ	北米	31.6	+ 6.0	37.5	+ 6.6
	欧州	16.9	△ 4.9	11.7	△ 4.6
	中国	9.4	△ 4.1	6.0	△ 3.1
	アジア・オセアニア	35.6	+ 1.5	36.0	△ 0.6
	ハワイ	6.4	+ 1.5	8.8	+ 1.8
旅客キロ	北米	32.1	+ 7.4	37.1	+ 6.3
	欧州	17.2	△ 4.4	12.5	△ 4.3
	中国	9.0	△ 4.8	4.3	△ 3.4
	アジア・オセアニア	34.3	+ 1.8	38.7	+ 2.2
	ハワイ	7.4	△ 0.0	7.4	△ 0.7

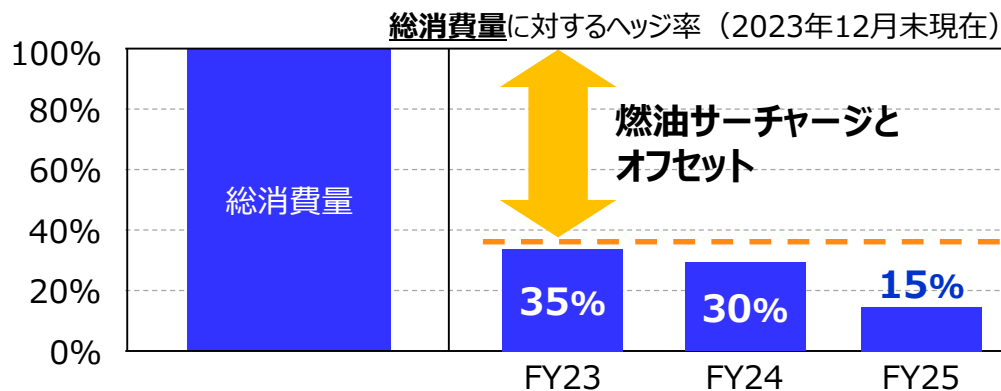
ANA国際貨物 方面別実績 (構成比)

	FY2019 3Q累計 構成比	FY2023 3Q累計 構成比	コロナ前実績 との差	FY2023 3Q 構成比	コロナ前実績 との差
貨物収入	北米 (ハワイを含む)	35.5	+ 7.4	47.6	+ 12.8
	欧州	15.3	△ 6.2	8.4	△ 7.3
	中国	22.3	+ 0.9	21.9	△ 0.8
	アジア・オセアニア	23.3	△ 0.1	20.6	△ 2.5
	その他	3.6	△ 2.0	1.5	△ 2.1
有効貨物 トンキロ	北米 (ハワイを含む)	43.4	+ 4.7	49.8	+ 7.8
	欧州	13.3	△ 6.9	6.1	△ 8.8
	中国	13.8	+ 0.3	13.7	+ 0.2
	アジア・オセアニア	27.6	+ 3.4	30.0	+ 2.3
	その他	1.8	△ 1.5	0.4	△ 1.4
有償貨物 トンキロ	北米 (ハワイを含む)	42.1	+ 9.2	52.3	+ 11.7
	欧州	18.0	△ 8.2	9.3	△ 9.5
	中国	13.2	+ 0.8	13.9	+ 0.2
	アジア・オセアニア	24.7	△ 0.6	23.9	△ 1.2
	その他	2.0	△ 1.3	0.7	△ 1.3

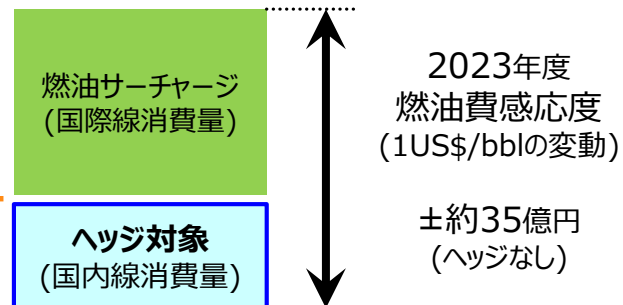
燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANA)

1. 燃油ヘッジ 基本方針

- 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
- 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージで対応)

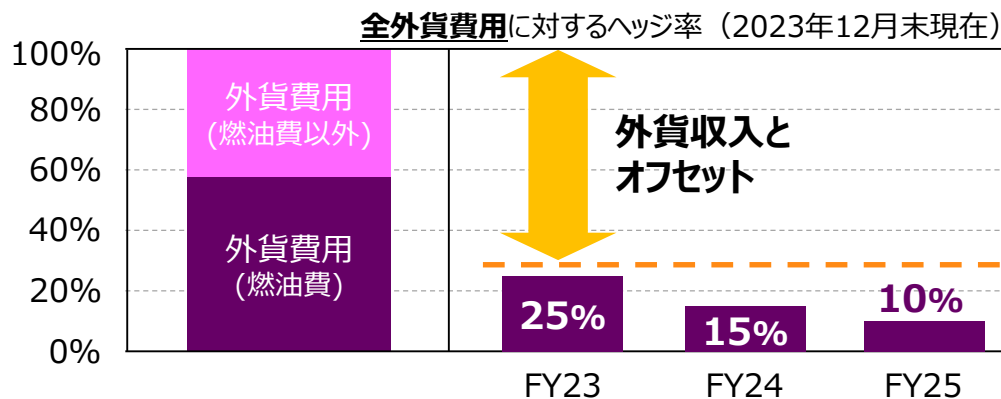


(US\$/bbl)	FY23 3Q累計実績	FY23 4Q前提
ドバイ原油	82.7	75
シンガポールクロシン	104.0	100

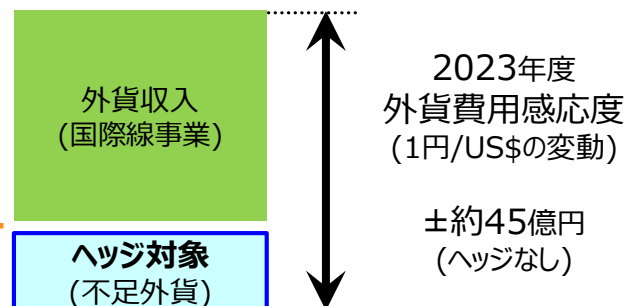


2. 為替ヘッジ 基本方針

- 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)



(円/US\$)	FY23 3Q累計実績	FY23 4Q前提
ドル円レート	143.3	145



航空機数

	合計					退役済み機材* を除く		
	FY2022 期末	FY2023 第3四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数	FY2022 期末	FY2023 第3四半期末	前年度 期末差
Airbus A380-800	3	3	-	3	-	3	3	-
Boeing 777-300/-300ER	18	18	-	9	9	18	18	-
Boeing 777-200/-200ER	10	10	-	10	-	10	10	-
Boeing 777-F	2	2	-	2	-	2	2	-
Boeing 787-10	3	3	-	2	1	3	3	-
Boeing 787-9	40	42	+ 2	36	6	40	42	+ 2
Boeing 787-8	36	36	-	31	5	36	36	-
Boeing 767-300/-300ER	15	15	-	15	-	15	15	-
Boeing 767-300F/-300BCF	9	9	-	6	3	9	9	-
Airbus A321-200neo	22	22	-	-	22	22	22	-
Airbus A321-200	4	4	-	-	4	4	4	-
Airbus A320-200neo	11	11	-	11	-	11	11	-
Boeing 737-800	39	39	-	24	15	39	39	-
De Havilland Canada DASH 8-400	24	24	-	24	-	24	24	-
ANA 計	236	238	+ 2	173	65	236	238	+ 2
Airbus A321-200neoLR	3	3	-	-	3	3	3	-
Airbus A320-200neo	10	15	+ 5	-	15	10	15	+ 5
Airbus A320-200	27	20	△ 7	-	20	19	17	△ 2
Peach Aviation 計	40	38	△ 2	-	38	32	35	+ 3
グループ計	276	276	-	173	103	268	273	+ 5

* 退役済み・売却待ちまたはリース返却待ちの機材

航空事業以外のセグメント

(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差
売上高	1,802	2,092	+ 289	530	592	+ 61
営業利益	51	96	+ 44	△ 6	13	+ 19
減価償却費	32	30	△ 2	1	3	+ 2
EBITDA (営業利益+減価償却費)	84	126	+ 42	△ 5	16	+ 21
EBITDAマージン(%)	4.7	6.1	+ 1.4pt	-	2.8	-

	商社事業			その他		
	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差	FY2022 第3四半期累計	FY2023 第3四半期累計	前年差
売上高	765	867	+ 101	272	287	+ 15
営業利益	30	42	+ 12	3	7	+ 3
減価償却費	6	7	+ 0	2	1	△ 1
EBITDA (営業利益+減価償却費)	37	49	+ 12	6	8	+ 1
EBITDAマージン(%)	4.8	5.7	+ 0.9pt	2.5	2.9	+ 0.4pt

(Memo)

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ワクワクで満たされる世界を

私たちは、空からはじまる多様なつながりを創り、
社員・お客様・社会の可能性を広げていきます。

グループ行動指針
(ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、感染症の継続・拡大、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : ir@anahd.co.jp